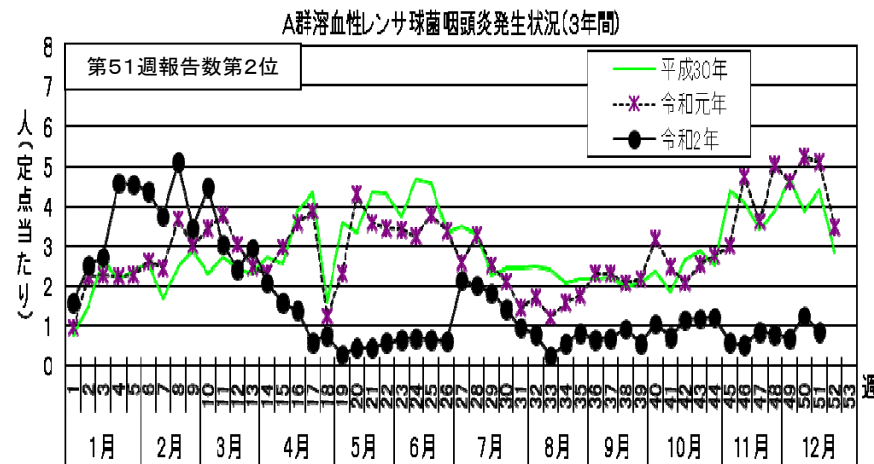
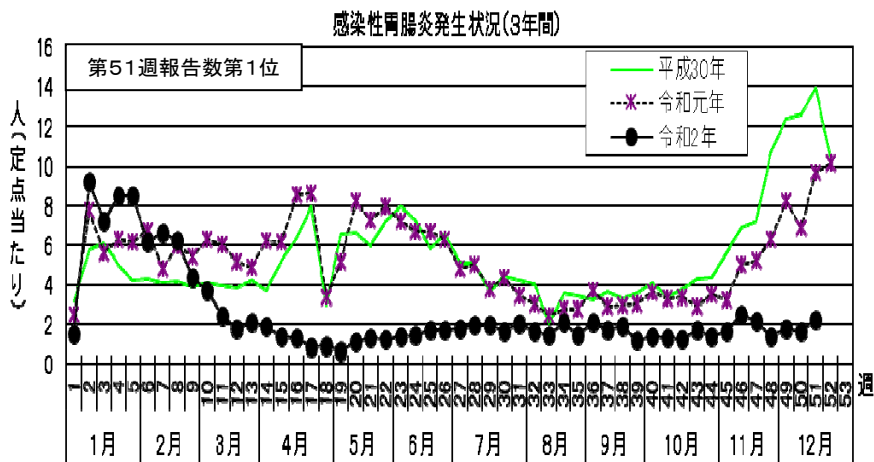


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年12月14日（月）～令和2年12月20日（日）〔令和2年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.27人と前週（1.65人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.86人と前週（1.24人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.65人と前週（0.38人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

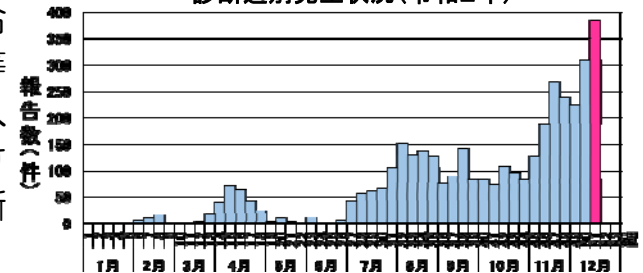


新型コロナウイルス感染症～年末年始の過ごし方～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和2年第51週（12月14日～20日）に384件となり、前週からさらに増加しました。今年感染を予防するため、カウントダウンなどのイベントはオンライン参加とし、初詣は混雑する時間帯を避けて出かけるなど、新型コロナウイルス感染症にかからない工夫をしていただくことが重要です。

また、新型コロナウイルス感染症は、初期には明確な症状がない場合もあります。軽い咳やのどの痛み等少しでも違和感を感じる場合は、人の集まる場所へ出かけることは避けてください。感染対策を心がけ、新しい年を元気に迎えましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)



行く年来年の感染予防



イベントはオンラインで



初詣は混雑する時間帯を避けて



軽い咳やのどの痛み等少しでも違和感を感じる場合は外出を控えましょう。